



## 壬生野地域環境美化活動を行いました(^\_^)

環境基本法（平成5年施行）では、6月5日を「環境の日」と定めており、環境省では毎年、この日を含む6月を「環境月間」として、様々な取り組みを実施しています。

また、三重県においても、令和5年5月30日（ごみゼロの日）から6月5日までを「三重県ごみ不法投棄監視ウイーク」として設定し、これらの期間中を通じて監視活動をより一層強化し、不法投棄の未然防止、早期是正に努めています。（環境省・三重県のHP 抜粋）



春日神社周辺



御代インター周辺

“いがまち”では環境月間の一日を「いがまち環境美化デー」と定めており壬生野地域まちづくり協議会では6月4日（日）に壬生野地域全域でクリーン作戦を実施しました。

壬生野地域では、名阪国道や側道、県道・市道や、滝川や柘植川河川敷などに不法投棄箇所が増えつつあり、その対策が急務となっています。今回、回収されたごみは、山畑区30kg、川東区110kg、川西区30kg、西之澤区40kg、希望ヶ丘区40kg、川西青葉台区10kg、春日丘区110kgとなり各自治会よりさくらリサイクルセンターに搬入しました。



壬生野インター周辺



滝川橋周辺

# 壬生野小学校で食農教育を実施しました

壬生野地域まちづくり協議会 産業振興・交流部会では、食農教育の一環として、本年度から壬生野小学校と連携した農業体験事業に取り組めます。

食農教育とは、“食べる、という人間にとって大事な行為そのものだけでなく、その背景にある動物や植物の「いのち」も感じて頂き、子どもはもちろん大人にも、日本の豊かな自然や四季の尊さ、農業の果たす役割をお伝えし、「食」と「農」との目には見えない強いつながりを学んでもらう”という大きな特徴があります。



学校田での田植え体験の様子（壬生野小学校提供）

6月13日午後から、壬生野小学校の5年生児童21人と同教諭、JA伊賀ふるさと伊賀支店職員、壬生野地域まちづくり協議会役員・委員など、総勢19人が小学校近くの圃場を借りて田植えを行いました。25年前まで同じ圃場で田植えを実施しておりその再開となりました。同協議会では、地域の活性化、産業振興を目指し、将来を担う児童が土に触れ、米作りの過程、楽しさ、役割を理解してもらおうものです。産業振興・交流部会員が、予め代掻きした圃場に碁盤の目のように線を引き、その交点に、JAで準備された苗を植えました。経験の殆どない児童が素足で畔一列に並び、土の中に足を踏み入れることに躊躇していましたが、一旦足を踏み入れ、植える要領を理解すると笑顔が絶えず、楽しい声が谷間に響きわたっていました。顔やお尻を泥だらけにしなが、参加した大人と一生懸命に植え、40分余りで植え終わりました。「壬生野小学校 学校田」と書かれた看板の前で記念写真を撮り体験を終えました。



学校での授業の様子

今後は、田植え前の9日に植えたバケツ稲作で日々の生育を観察しつつ、9月の収穫を迎えます。稲刈り、収穫したお米を利用したパン、菓子の加工品作りの体験を行っていく予定です。

## 地域探訪フィールドワークを行いました

梅雨晴の6月10日(土)、壬生野地域まちづくり協議会では、壬生野歴史文化継承事業の一環として西之澤地区においてフィールドワークを開催し24名が参加しました。

この事業は、昨年の山畑地区探訪を皮切りに、地域の自然や風習、歴史文化を再確認し次世代へ継承することを主な目的として壬生野地域全域を対象にし、地域の魅力や課題を発掘するものです。

この日は、最初に「法雲寺」にて住職から西之澤の大火によりお寺が再建されるまでの経緯や、本堂の間取り、柱に描かれている絵など丁寧な説明を受けました。その後、柘植川にかかる潜水橋を渡り、川沿いの桜並木を眺めながら西部処理区と川合処理区を合わせた広範囲の浄化を行っている「せせらぎ浄化センター」を自由見学しました。潜水橋は現在では通行する機会も減り、河川敷への不法投棄などが目立ち、今後の対策が必要だと感じました。



最後に、三重県天然記念物に指定されている「ノハナショウブ群落」を目指して西之澤の北から南まで、麦秋の景色を目に会話も弾みウォーキングを楽しみました。散策の道中には、花地蔵池に自生するノハナショウブも見られ近くの池堤にも同様に自生していることなども伺いました。

「ノハナショウブ群落」では、伊賀白鳳高等学校の中井先生から西之澤のノハナショウブの特徴や他地区との花の違い、年間の管理の方法などの説明を聴きました。また、今年は昨年に比べ花の数が減ってきており、今後は保存に向けて株分けの必要性も強調されました。

群落地からの帰路には、太陽光発電が地面を覆い農地転用による光景も見受けられました。

今回のフィールドワークでは、西之澤区長さんをはじめ地区役員の皆さんに大変お世話になり、西之澤地内を約7kmの行程を約3時間かけて全員が無事に完歩することができました。

## ノハナショウブ観察会に随行しました

毎年恒例の壬生野小学校「ノハナショウブ観察会」が6月15日に実施され、壬生野地域まちづくり協議会からは、教育文化・スポーツ部会を中心に役員ら6名が参加し、学校から現地まで徒歩での随行やノハナショウブスケッチの際のサポートなどを行いました。

観察会に先立ち、伊賀白鳳高等学校の生徒から紙芝居を使ってノハナショウブの特徴や手入れの仕方など1年間の取組が紹介されました。続けて、ノハナショウブを管理している居附さんからは保存や管理の大切さとノハナショウブへの想いを話していただきました。その後、児童から「手入れで大変なことは?」、「育てるコツは?」や「管理していて楽しいことは?」など質問があり、一つひとつ丁寧に答えてくれていました。そのあと、児童は開花しているノハナショウブをじっくりと観察して、画用紙にスケッチし花の色などを描いていました。



# まちづくり協議会からのお知らせ♪



## ◎7月のスケジュール

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
7月 1日(土)	健康体操(介護予防) 健康福祉部会主催	壬生野地区市民センター
7月 5日(水)	第2回 地域自治推進会議	伊賀支所会議室
7月 7日(金)	第4回 三役会議 13:30~	壬生野地区市民センター
7月 7日(金)	壬生野小学校防犯ネットワーク会議 19:30~	壬生野地区市民センターホール
7月11~20日	夏の交通安全県民運動	街頭啓発日 11日(火)、20日(木)
7月11日(火)	第4回 役員会 19:30~	壬生野地区市民センターホール
7月14日(金)	壬生野総合防災訓練学習会 19:30~	地域安全部会主催
7月14日(金)	第3回壬生野若者会議	壬生野地区市民センター和室
7月19日(水)	いがまち3地域合同区長会 14:30~	西柘植地区市民センター
7月21日(金)	壬生野歴史講座(その1) 19:30~ *どなたでも聴講できます(申込不要)	壬生野地区市民センターホール 【教育文化・スポーツ部会主催】
7月23日(日)	夏休み子ども俳句教室(別途チラシで申込要)	教育文化・スポーツ部会主催
7月25日(火)	お米で作るパン教室(別途チラシで申込要)	産業振興・交流部会主催

## ◎第2回運営委員会・各実行委員会で確認された主な事業計画

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
8月下旬	壬生野歴史講座(その2)	教育文化・スポーツ部会主幹
8月19日(土)	夏休み子ども木工教室(壬生野小学校図工室)	教育文化・スポーツ部会主催
8月19日(土)	矢持活性化協議会視察	産業振興・交流部会
8月20日(日)	プチ音楽会 13:30~(生涯学習事業)	壬生野地区市民センターホール
8月25日(金)	地域福祉ネットワーク会議	健康福祉部会
9月30日(土)	地域探訪フィールドワーク(川東地区)	教育文化・スポーツ部会主幹
9月下旬	壬生小児童による稲刈り体験(食農教育)	産業振興・交流部会
10月14日(土) ~15日(日)	壬生野まつり開催 【搬入:10月13日13:00~ 搬出:10月15日13:00~】	教育文化・スポーツ部会主幹 (生涯学習連携事業)
10月15日(日)	グラウンドゴルフ大会	壬生野若者会議主催
10月21日(土)	健康ウォーキング(熊野古道)	健康福祉部会主催
10月28日(土) ~29日(日)	いがまち展覧会 【搬入:10月27日13:00~ 搬出:10月29日13:00~】	会場:西柘植公民館ホールなど (生涯学習連携事業)
11月5日(日)	壬生野地域総合防災訓練(安否確認・避難所運営)	壬生野小学校ほか
11月中旬	壬生野歴史講座(その3)	教育文化・スポーツ部会主幹
11月中旬	滝山溪谷紅葉まつり	白藤滝保勝会主催(地域絆づくり)
11月25日(土)	人権講演会(LGBT講演会)	人権・男女共同参画部会
12月3日(日)	年末一斉環境美化活動	生活・環境保全部会
12月7日(木)	壬生野小学校防犯ネットワーク会議 19:30~	壬生野地区市民センターホール
12月9日(土)	地域探訪フィールドワーク(川西地区)	教育文化・スポーツ部会主幹

◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せください。 ◇◇◇  
壬生野地域まちづくり協議会事務局 TEL:45-8900

